

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

0-1. インストールプログラムの起動

NvixBOX

Your Personal web Server & Online Storage



PC の CD/DVD ドライブにインストール CD-ROM をセットすると、自動再生 (AutoRun) 機能により自動的にメニュー画面が表示されます。

※ Windows Vista 環境では、自動再生の確認ウィンドウが表示される場合があります。その場合は、【プログラムのインストール/実行】から【setup.exe の実行】を選択してください。

メニュー画面が表示されたら、【Install NOW】をクリックします。



自動再生 (AutoRun) 機能をオフにしている場合は自動的にメニュー画面が表示されませんので、マイ・コンピュータから CD-ROM を開き、setup.exe を実行してください。

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

0-2. インストールの開始



MvixBOX ソフトウェアのインストール画面で、【次へ】ボタンをクリックします。

0-3. ソフトウェア許諾契約書の確認

画面に表示されているソフトウェア許諾契約書の内容を確認して、画面下部の【はい、合意します】チェックボックスにチェックを入れてから【次へ】ボタンをクリックします。



※ソフトウェア許諾契約に合意されない場合、本機をご利用いただくことはできません。

※ご利用の環境によって、左図のようにソフトウェア許諾契約書の文面が表示されない現象が発生することが確認されております。以下にソフトウェア許諾契約書の全文を掲載いたしますので、画面に表示されない場合にはこちらでご確認ください。

ソフトウェア 使用 同意書

大変重要な内容ですので十分気をつけて読んでください。当ソフトウェア使用同意書(“同意書”)はMVIXが開発、販売、配布したMBoxの設置及び運営ソフトウェア(“ソフトウェア”)の使用に対する貴下(個人又は法人)とMVIX間で締結する使用契約です。

貴下は、ご購入されたMBoxの“ソフトウェア”を設置、コピーして使用することにより当“同意書”

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

の内容に同意されたことと看做されます。

貴下が当 " 同意書 " 内容に同意しない場合は " ソフトウェア " をご使用になれません。

- ソフトウェア製品使用権 -

1. 使用許可

当 " 同意書 " に同意する場合、貴下には次のような権利が許可されます。

MVIX は MBOX を正当にご購買いただいた貴下が購買した MBOX に " ソフトウェア " を設置してご使用できる権利を許容いたします。

2. 著作権及び用途制限

当 " ソフトウェア " の全ての正品本は著作権情報が表示されていなければなりません。当 " ソフトウェア " 製品と製品内に含まれている全ての付属物、付属印刷物及びソフトウェアのコピー本などに対する著作権と知的所有権は MVIX に属します。この権利は世界各国の著作権法と国際著作権条約に従って保護されます。

使用者は当 " ソフトウェア " の使用と関わる各国著作権法、国際著作権条約及びその他関連法律を遵守しなければなりません。また、関連法規で明示的に許容している制限的な範囲以外は当 " ソフトウェア " をリバースエンジニアリング、ディコンパイル、ディスアSEMBルしてはいけません。なお、当ソフトウェアの構成要素全体或いは一部をコピーしたり変形、改作することや、MVIX の事前承認を得ずに任意でこの製品及び関連印刷物を複製或いはコピーして配布することは禁じられております。

貴下が前項の行為により MVIX の著作権を侵害し、損害が発生した場合、MVIX は著作権の侵害による全ての損害に対する賠償を貴下に請求できます。

3. 自動アップデート

当 " ソフトウェア " にはアップデートのため、正常的な作動の一部としてインターネットを通じた通信が実行できる機能が内装されています。そして、自動アップデートでは必要に応じて任意のファイルが貴下の MBOX に設置されるが、これを設置する前に貴下の同意を改めて求めてはいなく、この契約に同意することにより同意と看做されます。

4. 結果的損害に対する責任問題

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

MVIXは貴下が当“ソフトウェア”を使用できなくなったり、使用法を正しく認識しなく起きた利益の損失、業務の中断、事業情報の損失又は金銭上の損失など、事業上の損害を含む付随的かつ間接的損害など一切の損害に対しては一切責任を負えません。

また、MBOXの使用上、一切の著作権又は知的財産権を侵害した場合、その法的責任は使用者にあります。

5. ハードディスクドライブ管理の注意事項

MBOX及び“ソフトウェア”が設置されるハードディスクドライブは、外部環境や使用中のショックにより不良が発生しうる精密な製品ですので使用中には常に注意してください。また、ハードディスクに貯蔵されている使用データは全面的に使用者の責任であり、MVIXはハードディスクデータの損傷などに関しては一切の責任を追いません。

ハードディスクドライブの損傷を防ぐために重要なデータはいつもバックアップして保管することをお勧めいたします。

6. 契約書の認定

貴下は“同意書”に明記されている全ての内容を読み、十分理解した上、同意書の条件に同意することと認めます。

7. 契約書の終了

貴下が当“同意書”の内容を遵守しない場合、MVIXはその他権利を侵害しない範囲で当契約書を終了させることができます。

8. 準拠法及び管轄

当“同意書”は世界各国の法律に従い規律され、当ソフトウェアの使用権と関連した裁判など全ての法的問題については其々国の当該管轄裁判所にその専属管轄権があります。

9. 契約にたいするお問い合わせ事項

ソフトウェア使用権の認証書や“同意書”に関するお問い合わせは下記の連絡先をご参照お願いします。

MVIX

<http://www.mvix.net>

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

0-4. RapidBox Service 許諾契約書の確認

画面に表示されている RapidBox Service 許諾契約書の内容を確認して、画面下部の【はい、合意します】チェックボックスにチェックを入れてから【次へ】ボタンをクリックします。



※ RapidBox Service 許諾契約に合意されない場合、本機をご利用いただくことはできません。

0-5. MvixBOX の接続



本機をネットワークまたはPCと直接LANケーブルで接続します。

本機をネットワークまたはPCと接続したら、本体背面の主電源ボタンを使用して本機の電源をオンにします。

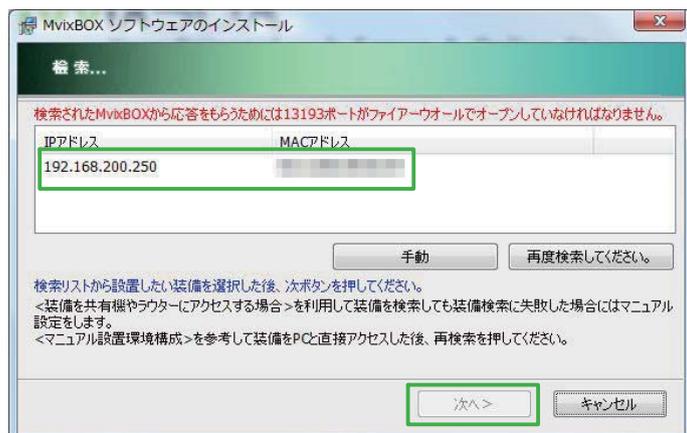
本機の起動処理が開始し、使用可能な状態になると本体正面の Status LED が点滅から点灯に変わります。

起動完了後は、本体正面の Power LED と Status LED が点灯状態、LAN LED は点灯または点滅状態となります。LAN LED が消灯している場合、ケーブルの接続などが正しく行われているか確認してください。

ネットワークへの接続と起動が正常に完了したら、【次へ】ボタンをクリックします。

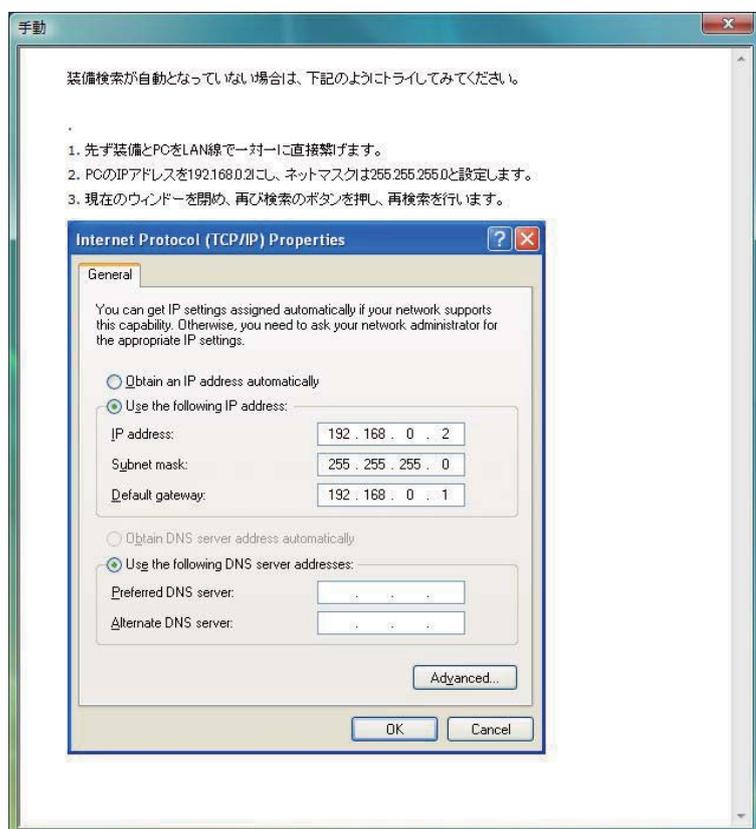
Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

0-6. MvixBOX の検索とインストール先の選択



ネットワークに接続されている MvixBOX の検索が行われ、検出された IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。

IP アドレスまたは MAC アドレスをクリックして選択した状態にしてから、【次へ】 ボタンをクリックします。



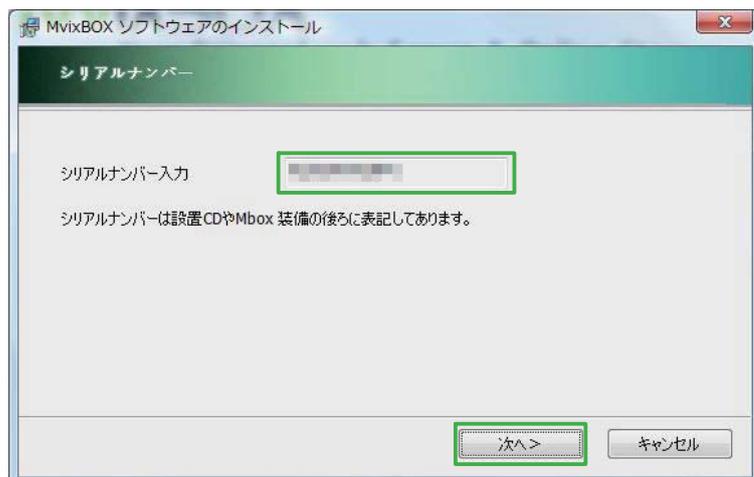
ネットワーク上の DHCP サーバーや DHCP サーバー機能内蔵のルーターから自動的に IP アドレスが取得できない場合や、本機と PC を直接接続している場合には、PC の IP アドレスを手動で設定する必要があります。

【手動】 ボタンを押すと、PC に設定すべき IP アドレスなどに関する情報ウィンドウが表示されますので、画面の指示に沿って PC の IP アドレスを設定してください。

IP アドレスの設定が完了したら、【再度検索してください】 ボタンを押して本機の検出を行います。

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

0-7. CD Key の入力

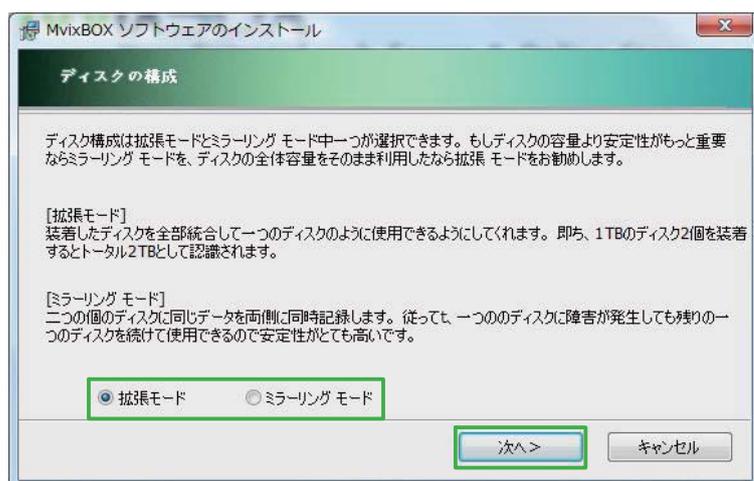


本機底面のラベル部に記載されている CD Key を入力して、【次へ】 ボタンをクリックします。

※画面上にはシリアルナンバーと表記されていますが、必ず CD Key を入力してください。

※ CD Key は半角で入力します。また、大文字と小文字も区別されますので、注意して入力してください。

0-8. ディスク構成の選択



本機に設置した HDD をどのように構成するかを選択します。

【拡張モード】（リニア RAID）

二台の HDD の容量を合算して、一台の HDD として認識するモードです。

【ミラーリングモード】（RAID 1）

同じ容量の HDD を二台使用して、それぞれの HDD に対し同じデータを記録します。データの二重化を行うことで、一方の HDD に物理的な障害が発生した場合でも正常にデータの読み書きを行うことができます。

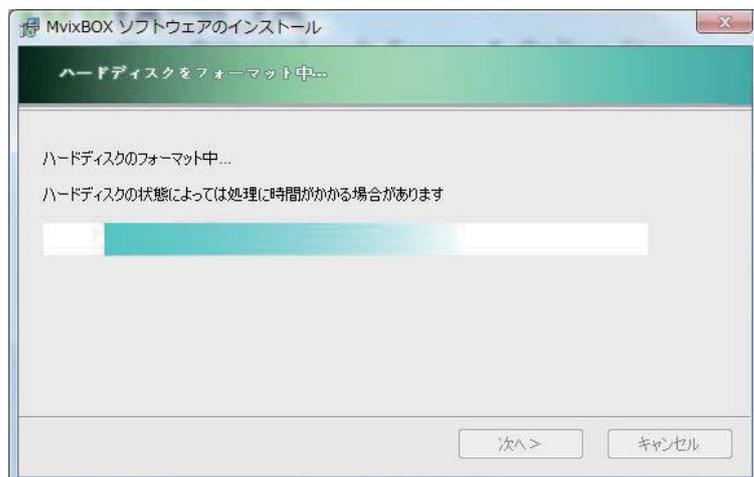
拡張モード、ミラーリングモードのいずれかを選択して、【次へ】 ボタンをクリックします。

※ディスク構成は運用開始後に変更することができませんのでご注意ください。

※運用開始後にディスク構成を変更するには、すべてのデータを初期化してシステムソフトウェアの再インストールを行う必要があります。システムソフトウェアの再インストール前に別途必要なファイルのバックアップを行う必要がありますのでご注意ください。

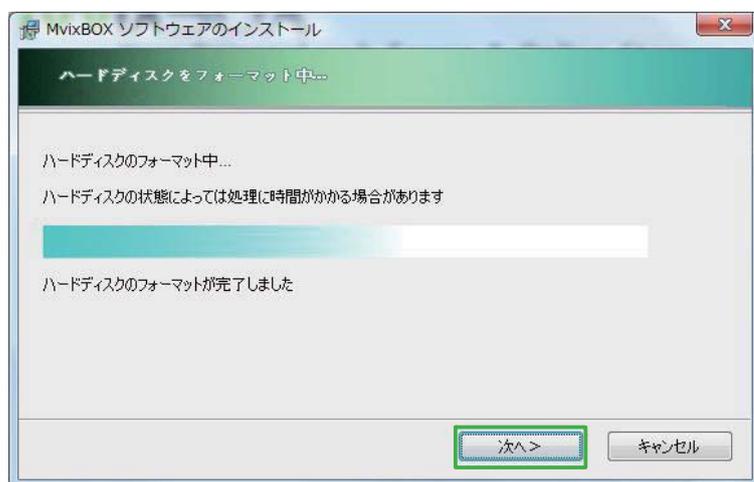
Chapter 0. システムソフトウェアのインストール

0-9. ディスクの初期化（フォーマット）



ディスク構成の選択を行うと、自動的にディスクの初期化（フォーマット）が行われます。

※ディスクの初期化中は、絶対に本機の電源をオフにしたり LAN ケーブルの抜き差しを行わないでください。



ディスクの初期化が完了したら、【次へ】ボタンをクリックします。

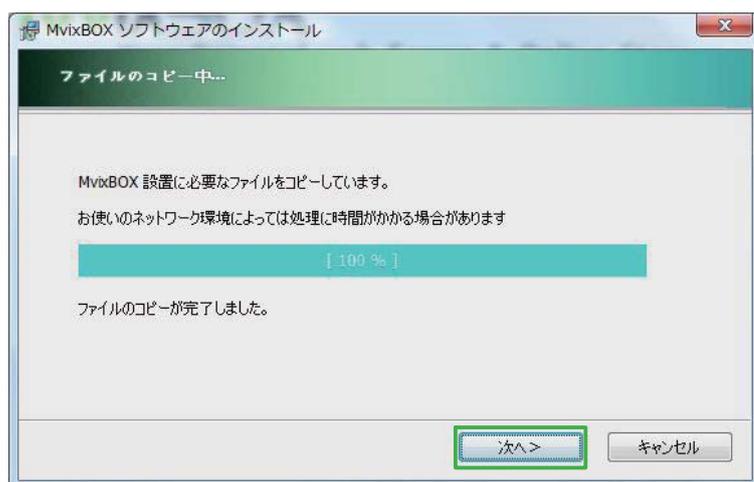
0-10. 必要なファイルのコピー



ディスクの初期化が完了すると、自動的に必要なファイルのコピーが開始されます。

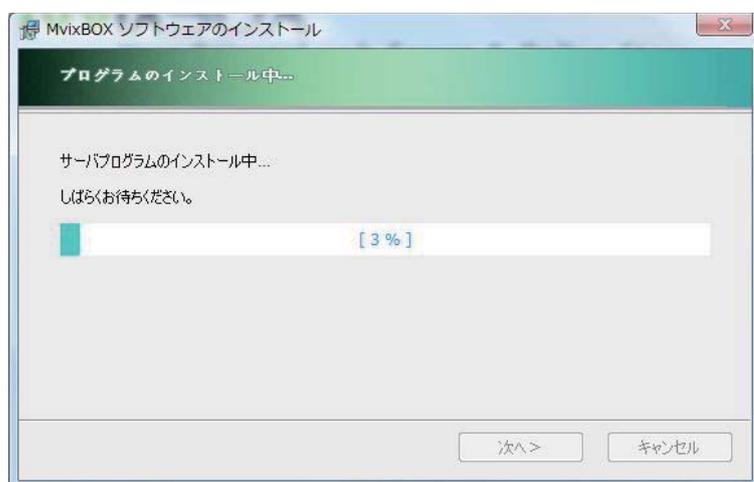
※必要なファイルのコピー中は、絶対に本機の電源をオフにしたり LAN ケーブルの抜き差しを行わないでください。

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール



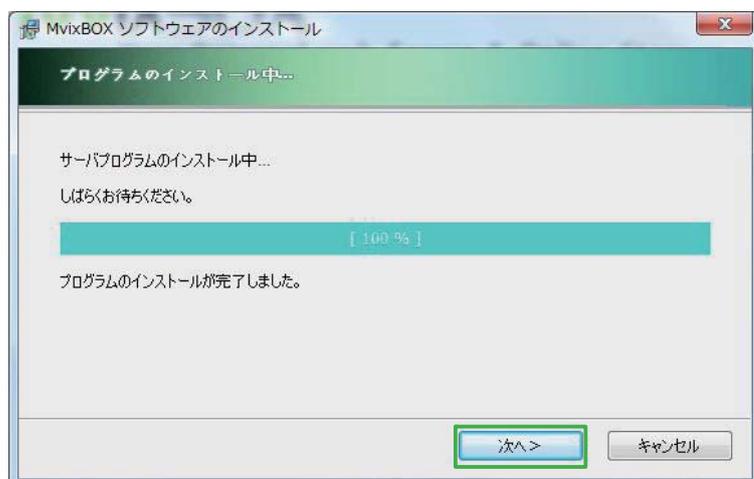
必要なファイルのコピーが完了したら、【次へ】ボタンをクリックします。

0-11. プログラムのインストール



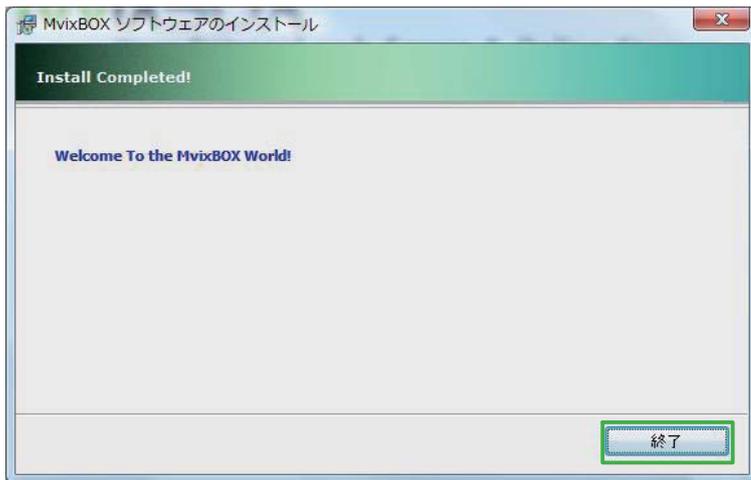
必要なファイルのコピーが完了すると、自動的にプログラムのインストールが開始されます。

※プログラムのインストール中は、絶対に本機の電源をオフにしたり LAN ケーブルの抜き差しを行わないでください。



プログラムのインストールが完了したら、【次へ】ボタンをクリックします。

Chapter 0. システムソフトウェアのインストール



システムソフトウェアのインストールが正常に完了すると、Welcome 画面が表示されます。

【終了】 ボタンをクリックします。



自動的にブラウザが起動し、本機のシステムにアクセスするための基本的な情報が表示されます。

画面左上の MvixBOX ログををクリックすると、本機のログイン画面に移動することができます。

Chapter 1. システムへのログインとユーティリティのインストール

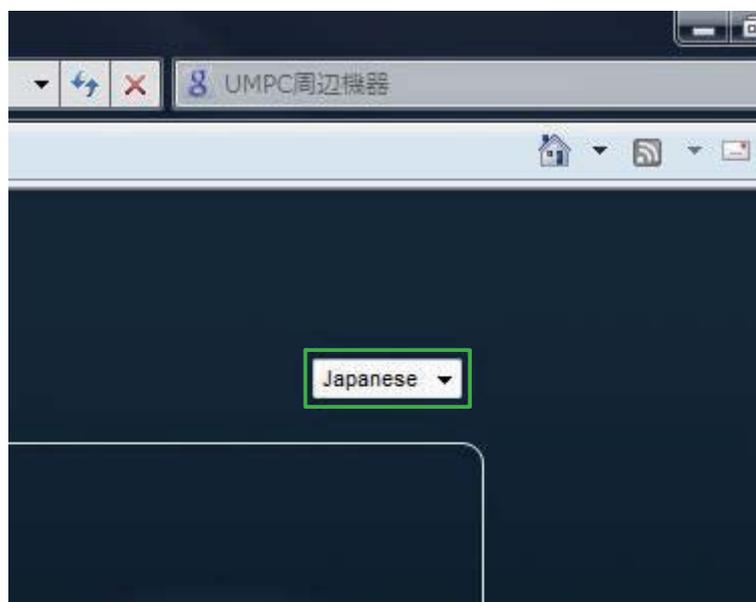
1-1. MvixBOX にログインする



ブラウザのアドレス欄に本機に設定した IP アドレスを入力すると、ログイン画面が表示されます。

※ DHCP による自動割り当て利用時など、本機に設定された IP アドレスがわからない場合は、【スタート】 - 【ネットワーク】 から MVIXBOX を選択することでログイン画面を表示することができます。(UPnP 機能がオンになっている場合)

※本機に設定された IP アドレスがわからないなどの理由によりどうしてもログイン画面を表示できない場合は、システムソフトウェアのインストールプログラムを使用して MvixBOX の検出を行い、本機に設定された IP アドレスを確認してください。



画面右上のプルダウンメニューから、ログイン後の画面で使用する表示言語を選択します。

※以降の説明では、表示言語として Japanese (日本語) を選択していることを前提として記載します。

※ログイン後に表示言語を変更することはできません。ログイン後に表示言語を変更する場合、一度ログオフして再度ログイン画面にて選択し直す必要があります。

Chapter 1. システムへのログインとユーティリティのインストール

The screenshot shows a login interface with the following elements:

- ① **ユーザー選択**: Radio buttons for **ユーザー** (selected) and **管理者**.
- ② **ユーザーID**: Text input field containing **sysadmin**.
- ③ **パスワード**: Password input field.
- ④ **IDの保存**: Checkable checkbox.
- ⑤ **Login**: Primary login button.
- パスワード初期化**: Secondary button for password reset.

ユーザー選択 (①) でログインするユーザーアカウントの種類を選択します。本機に初めてログイン場合は【管理者】を選択します。

ユーザー ID 欄 (②) にシステム管理者用 ID である【sysadmin】を入力します。

パスワード欄 (③) にはアカウントのパスワードを入力します。本機の管理者用 ID 【sysadmin】の初期設定パスワードはユーザー ID と同じく【sysadmin】です。

ID の保存チェックボックス (④) にチェックを入れると、入力したユーザー ID およびパスワードをブラウザの Cookie に保存して次回以降入力を省略することが出来ます。

ユーザー選択 (①)、ユーザー ID (②)、パスワード (③) を入力して、【Login】ボタン (⑤) をクリックすると本機のメイン画面にログインします。

※セキュリティ上の問題から、sysadmin のパスワードは実際に運用を開始する前に必ず変更してください。初期設定パスワードのまま運用を開始した場合は、不正アクセスなどにより予期せぬトラブルが発生する可能性があります。

Chapter 1. システムへのログインとユーティリティのインストール

1-2. MvixBOX ユーティリティのインストール



ご利用の PC から初めて MvixBOX へログインした場合、本機の各機能を利用するための ActiveX コントロール、及びブラウザを経由せず本機のファイル共有機能にログインするためのユーティリティのインストールが実行されます。

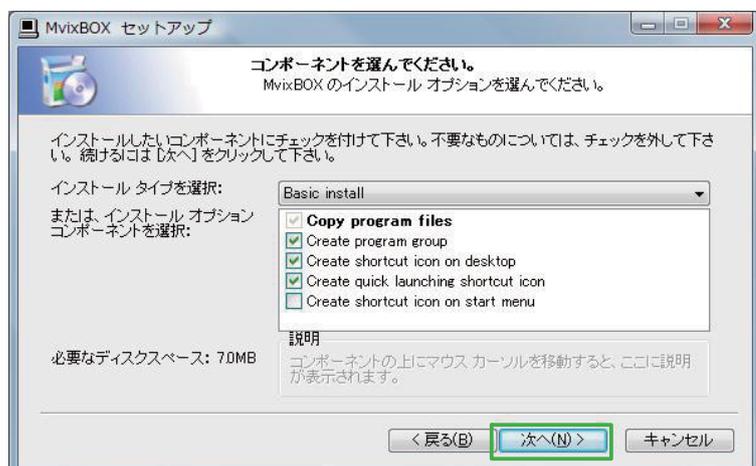
そのまま【インストールする】ボタンをクリックします。

※ Internet Explorer7 以外のブラウザをご利用の場合、ActiveX コントロールとユーティリティのインストールが正常に行われない場合があります。

※ ActiveX コントロールが正常にインストールされていない場合、本機の一部機能が正常にご利用いただけない場合があります。



【次へ】ボタンをクリックします。



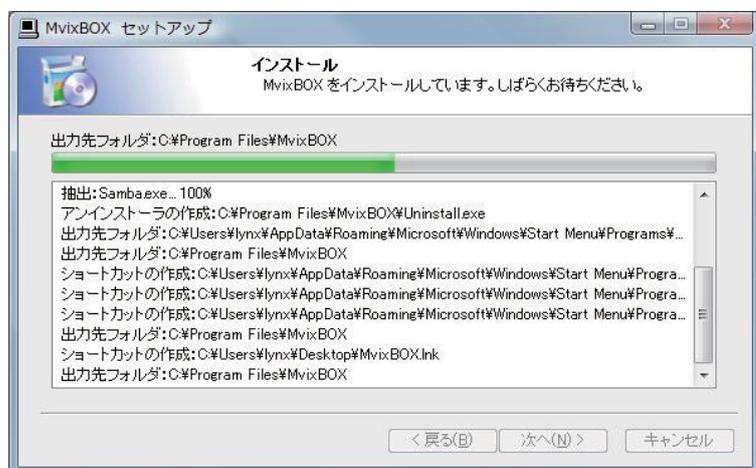
【次へ】ボタンをクリックします。

Chapter 1. システムへのログインとユーティリティのインストール



プログラムのインストール先を選択します。

通常はそのまま【インストール】ボタンをクリックします。



必要なファイルのコピーが実行されます。



ファイルのコピーが終了したら、【完了】ボタンをクリックしてインストールを完了します。

Chapter 1. システムへのログインとユーティリティのインストール



MvixBOX のメイン画面が表示され、利用する準備が整いました。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-1. メイン画面の概要



① TOP 領域

【MvixBOX】ロゴをクリックすると、どの画面からでもこの画面に戻ることが出来ます。また、TOP 領域にはファームウェアのバージョン情報や、本機からログアウトする為のリンクなどが配置されています。

② TOP LEFT 領域

TOP LEFT 領域には、ログイン中のユーザー情報やディスクの利用状況が配置されています。【マイプロフィール】ボタンをクリックして、ユーザーイメージ画像やパスワードの変更を行うことができます。また、TOP LEFT 領域には本機からログアウトするためのボタンが配置されています。

③ BOTTOM LEFT 領域

BOTTOM LEFT 領域には、ブラウザを経由せずに本機の共有ディスク機能を利用するためのユーティリティプログラムが配置されています。対応する OS (オペレーティングシステム) のロゴ画像をクリッ

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

クすると、ユーティリティのインストールプログラムをダウンロードすることができます。

※ Windows XP および Windows Vista (32bit 版) 以外の OS での動作についてはサポートの対象外となっております。ご利用中に発生したトラブルやお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

④ TOP RIGHT 領域

TOP RIGHT 領域には、本機の各機能を利用するためのアイコンが配置されています。

※【PC バックアップ】機能はファームウェアバージョン 1.0.0.4 ではご利用いただくことが出来ません。

※【ユーザー作成】【グループ作成】【設定ウィザード】【管理者】機能は、システム管理権限を持ったアカウントでログインした場合にのみ利用可能です。

※一般ユーザでログインした場合【ユーザー作成】機能の代わりに【ゲストユーザー】機能が表示されます。

⑤ BOTTOM RIGHT 領域

BOTTOM RIGHT 領域には、最新のシステムソフトウェア（ファームウェア）のリリース情報が表示される【Notice】エリアと、掲示板への新着書き込みリストが表示される【Board】エリアが配置されています。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-2. ウェブディスクエクスプローラー機能

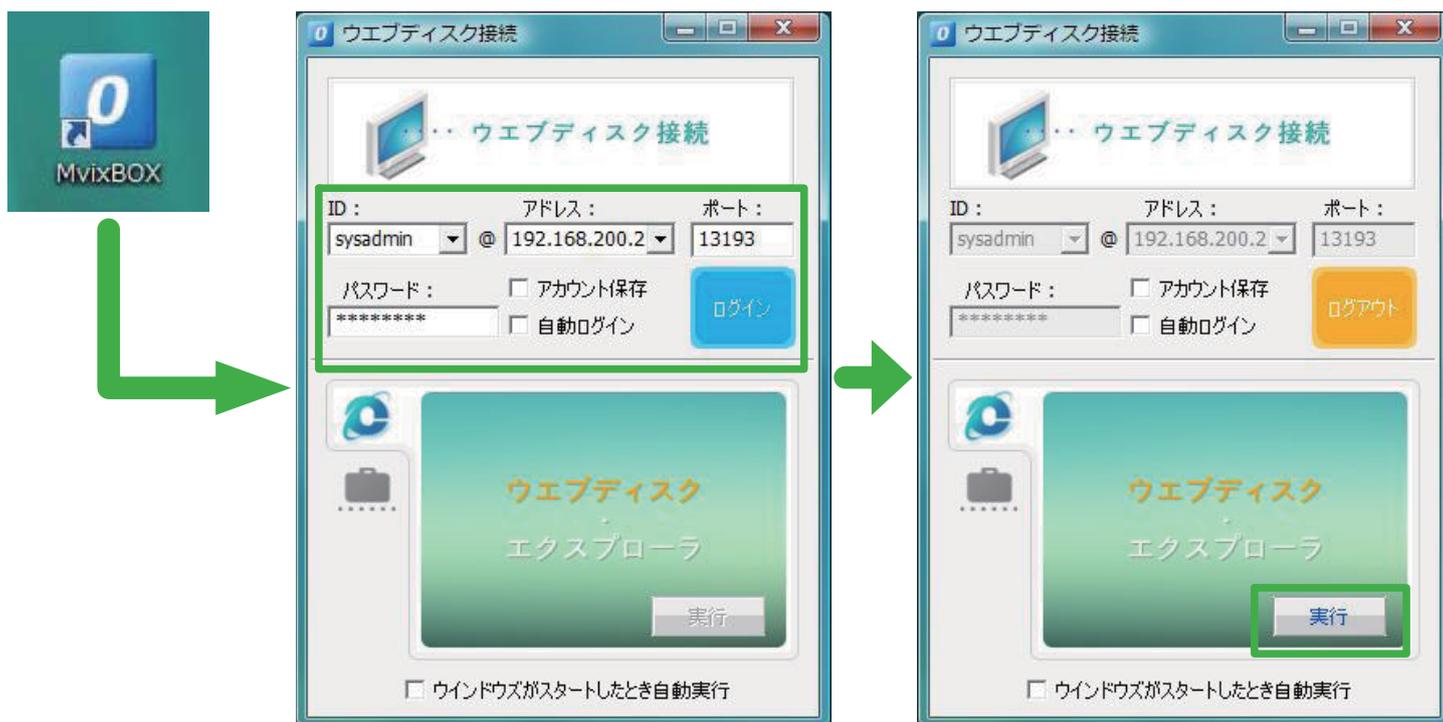


【ウェブディスクエクスプローラー】 ボタンをクリックすると、PC にインストールされたディスク・エクスプローラーが起動します。



ディスク・エクスプローラーを使用すると、FTPクライアントと同じようなイメージで本機とPC間でファイルの移動や削除などを行うことができます。

ディスク・エクスプローラーは、ブラウザを経由せずデスクトップ上に作成された MvixBOX ショートカットから起動することもできます。

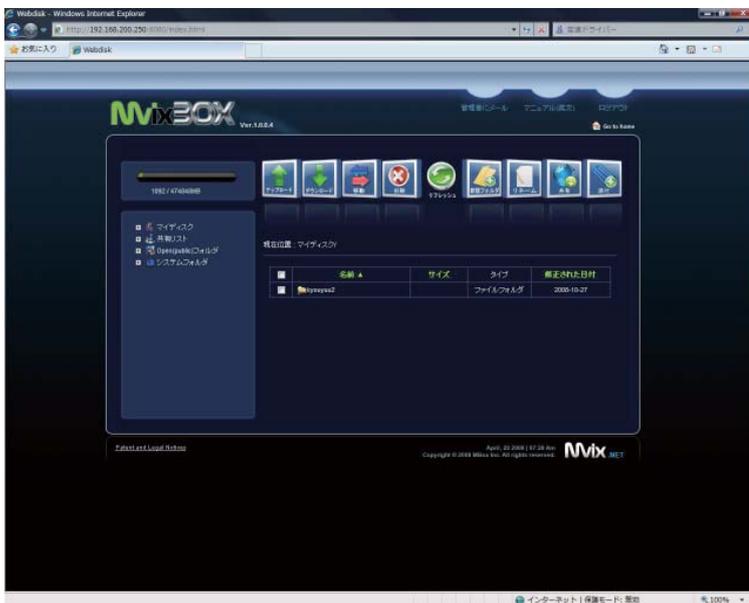


Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-3. ウェブディスブラウザ機能



【ウェブディスブラウザ】 ボタンをクリックすると、ブラウザ上で本機と PC 間でファイルの移動や削除などを行うことができます。



Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-4. ドライブ番号割り当て機能



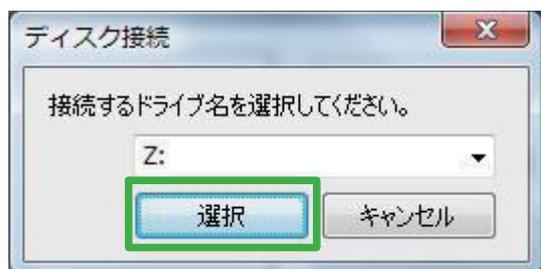
【ドライブ番号割り当て】 ボタンをクリックすると、本機のマイディスク領域と Open(public) フォルダ領域にドライブ番号を割り当て、通常の HDD のようにマイ・コンピュータから直接アクセスすることができるようになります。

※ドライブ番号割り当て機能は Windows XP および Windows Vista (32bit 版) 以外でのご利用はサポート対象外となっております。



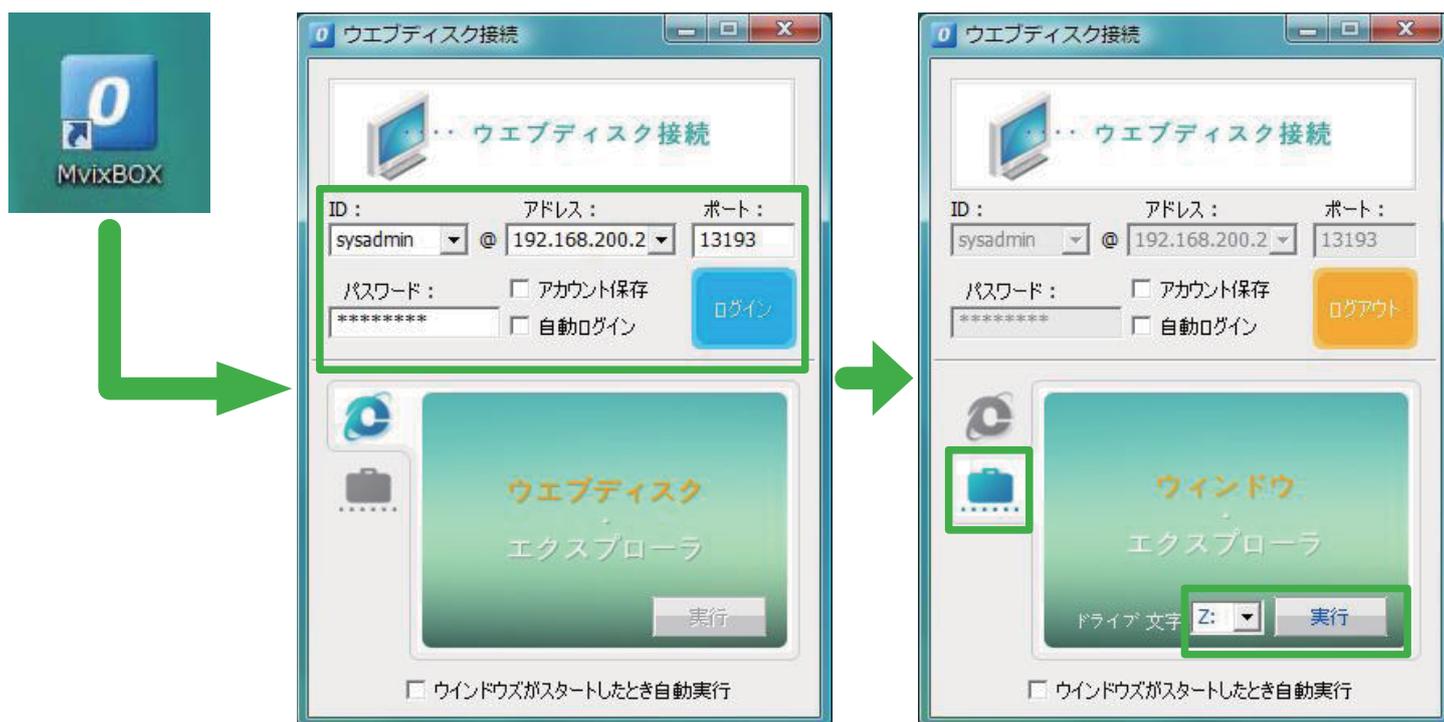
【ディスク接続】 ボタンをクリックするとマイディスク領域を、【オープンフォルダ】 ボタンをクリックすると Open(public) フォルダ領域にドライブ番号を割り当てます。

※マイディスク領域と Open(public) フォルダ領域にそれぞれ異なるドライブ番号を同時に割り当てることが出来ます。



プルダウンリストから割り当てるドライブ番号を選択して【選択】 ボタンをクリックすると、ドライブ番号の割り当てが実行されます。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要



ドライブ番号の割り当ては、ブラウザを経由せずデスクトップ上に作成された MvixBOX ショートカットから実行することもできます。

ウェブディスク・エクスプローラを起動する場合と同様に本機にログインして、画面左下の鞆型アイコンをクリックすると、ドライブ番号の割り当てモードに切り替わります。プルダウンリストから割り当てるドライブ番号を選択して、【実行】ボタンを押すとドライブ番号の割り当てが実行されます。

※ブラウザを経由しないでドライブ番号の割り当てを行う場合、マイディスク領域にのみドライブ番号割り当てを行うことができます。Open(public) フォルダ領域へのドライブ番号割り当ては行えませんのでご注意ください。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-5. メッセージ機能



【メッセージ/リンク】ボタンをクリックすると、本機に登録されたユーザー同士でメッセージ(ノート)の送受信を行ったり、Eメールの送信を行うことができます。

※Eメールの送信は【管理者】メニュー画面でSMTPサーバーが設定済みの場合のみ可能です。

※本機はEメールの送信のみ行うことができます。送信されるEメールの差出人は設定に関係無く admin@mvox.net となります。



※設定するSMTPサーバーのセキュリティポリシーによっては、本機のEメール送信機能をご利用いただけない場合があります。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-6. ブログ機能



【ブログ】 ボタンをクリックすると、blog の投稿や本機に登録されたユーザーの blog を閲覧することができます。

※本機の blog は、TATTERTOOLS を利用して提供されています。スキン変更など、各種環境をデフォルトと異なるものに設定する場合、TATTERTOOLS の管理画面での操作が必要となります。本マニュアルでは、TATTERTOOLS 自体の操作方法に関する解説は行いませんので、別途 Web や関連書籍などをご参照ください。



※本機で作成された blog は、本機に登録されたユーザー以外の一般の Web 利用者からも閲覧することが出来ます。blog に投稿する内容については十分にご注意ください。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-7. BitTorrent 機能

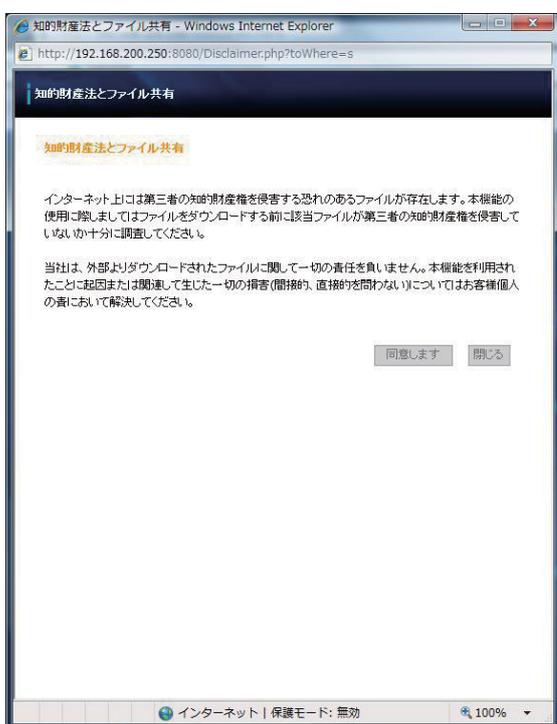


【Bittorrent (ビットトレント) /RSS】 ボタンをクリックすると、BitTorrent クライアント機能を起動して BitTorrent 上で配布されているファイルのダウンロードを行うことができます。

※初めて BitTorrent 機能にアクセスした場合、ご利用上の注意画面が表示されます。

※ BitTorrent に限らず、ネットワーク上では著作権法や各種条例に抵触するファイルが流通している場合があります。こうしたファイルをダウンロードまたはアップロードする行為は処罰の対象となる場合がありますので、十分にご注意ください。

※本機は第三者の知的財産権を侵害する行為について、これを推奨するものではありません。また、本機の開発・製造元・販売元・流通業者・販売店は、本機の BitTorrent 機能を利用したことに起因または関連して生じた一切の直接的・間接的損害について、その責を負わないものとします。



BitTorrent 機能で必要となる Torrent ファイルは、別途用意して本機に登録する方法以外に、mininova.org からの RSS 配信を受信して選択・登録することができます。

Torrent ファイルの登録は 1 ユーザーあたり 5 個まで、全ユーザーの合計で 30 個まで行うことができます。

※コネクション数などの関係により、多数の Torren ファイルを登録した場合システムが不安定になる場合があります。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-8. ユーザー作成機能



【ユーザー作成】 ボタンをクリックすると、本機を利用するユーザーアカウントの作成や、管理者が設定した共有フォルダにのみアクセスすることが出来るゲストアカウントの作成・削除を行うことが出来ます。

※ユーザーアカウントの作成は、管理者アカウント（sysadmin）でログインした場合のみ可能です。

※管理者アカウント（sysadmin）以外でログインした場合、アイコンの表示名が【ゲストユーザー】に変更されます。

2-9. グループ作成機能



【グループ作成】 ボタンをクリックすると、ユーザーグループの作成を行うことが出来ます。

※管理者アカウント（sysadmin）以外でログインした場合は利用できません。

2-10. 共有フォルダ作成



【共有フォルダ作成】 ボタンをクリックすると、共有ファイル領域として使用するフォルダを任意に作成することができます。共有フォルダ作成時に、フォルダに対するアクセス権の設定も行うことが出来ます。

Chapter 2. メイン画面と各機能の概要

2-11. 設定ウィザード機能



【設定ウィザード】ボタンをクリックすると、本機の基本的な設定をステップバイステップ形式で簡単に行うことができます。

※管理者アカウント（sysadmin）以外でログインした場合は利用できません。

2-12. 管理者機能



【管理者】ボタンをクリックすると、ユーザーアカウントの管理やディスクの管理、サービス管理の他、設定ウィザードでは行えない各種設定を行うことができます。

※管理者アカウント（sysadmin）以外でログインした場合は利用できません。

Chapter 3. 各機能の詳細

3-1. ウェブディスクエクスプローラー



①ユーザー情報とディスク使用状況

ログイン中のユーザー情報と、ディスクの使用状況などの情報が表示されます。

②操作メニュー

操作メニューに配置されたアイコンを使用して、ファイルやフォルダの作成・コピー・移動・削除を行うことができます。また、フォルダの共有設定やゲストユーザーの追加も行うことができます。

③ウェブディスク領域

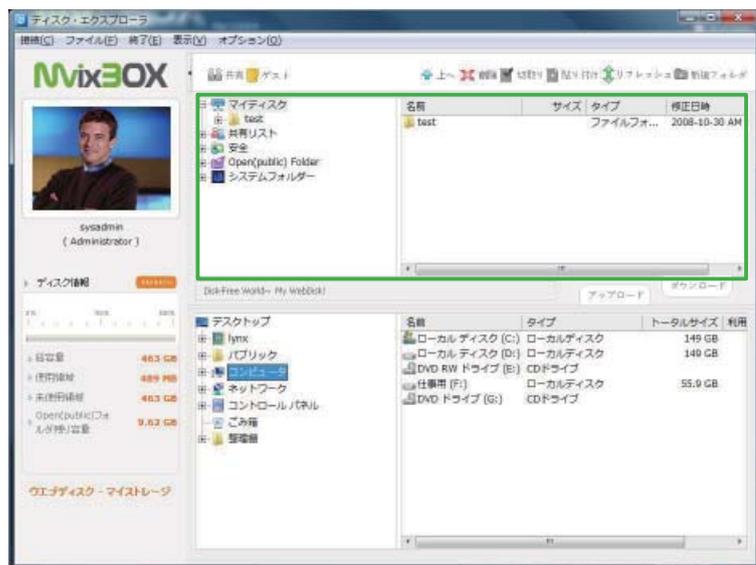
本機側のファイルやフォルダが表示されます。

④ローカル PC 領域

PC 側のファイルやフォルダが表示されます。

Chapter 3. 各機能の詳細

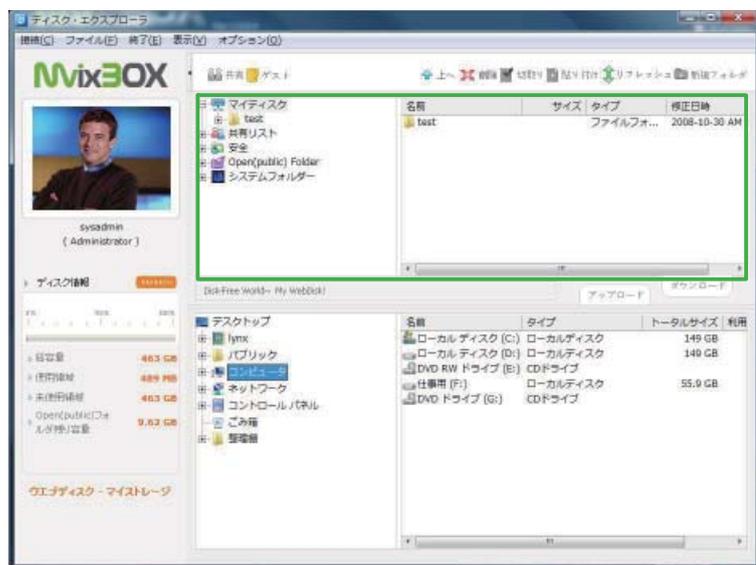
3-1-1. ファイルやフォルダの操作



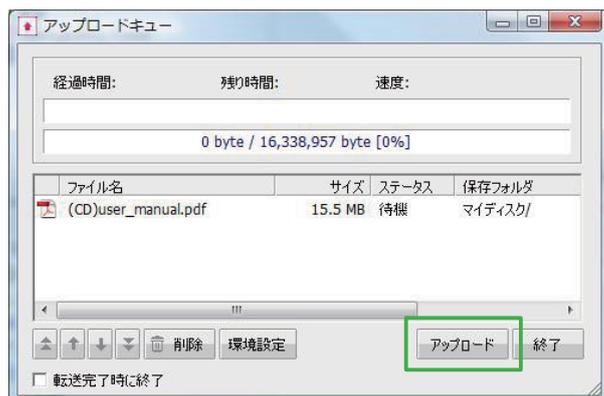
ウェブディスク領域では、Windows XP および Windows Vista とほぼ同じ操作で本機に保存されているファイルやフォルダの作成／コピー／移動／削除を行うことができます。また、ファイルやフォルダ名の変更も同様に行うことができます。

ファイルやフォルダの操作は、画面上部の操作メニューを利用して行う他に、右クリックで表示されるコンテキストメニューを使用することもできます。

3-1-2. ファイルのアップロード



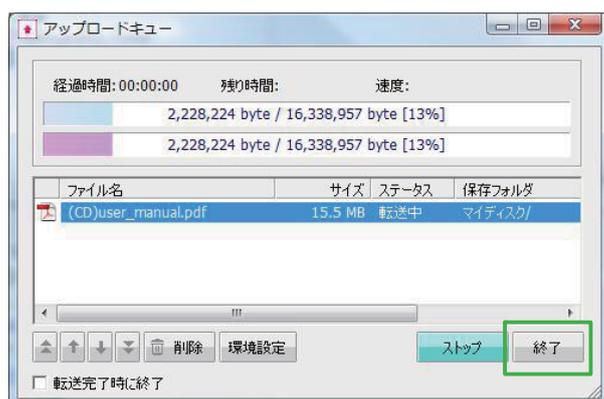
ウェブディスクエクスプローラーを使用して本機にファイルを転送（アップロード）する場合は、転送するファイルやフォルダをウェブディスク領域にドラッグアンドドロップします。



ウェブディスク領域にファイルをドラッグアンドドロップすると、アップロードキュー画面が表示されます。

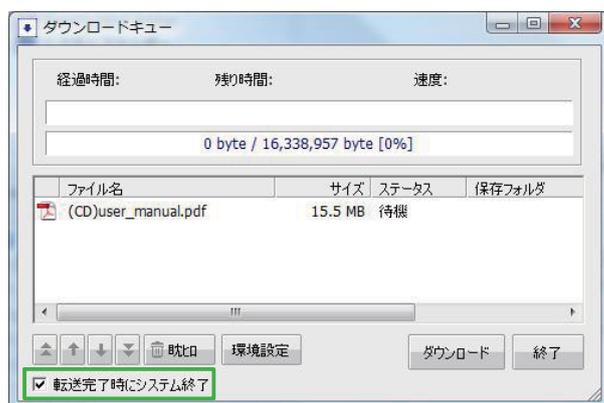
【アップロード】ボタンをクリックすると、ファイルの転送が開始されます。

Chapter 3. 各機能の詳細



ファイルの転送中に【ストップ】ボタンをクリックすると、処理を中止することができます。

ファイル転送の完了後、【終了】ボタンをクリックするとアップロードキュー画面を閉じることが出来ます。



アップロードキュー画面左下の【転送完了時にシステム終了】チェックボックスにチェックを入れておくと、ファイルの転送完了時に自動的にアップロードキュー画面を閉じることが出来ます。

※画面表記が【システム終了】となっていますが、PCがシャットダウンされることはありません。アップロードキュー画面が閉じられる以外の動作が行われることはありません。

3-1-3. ファイルのダウンロード



ウェブディスクエクスプローラーを使用して本機に保存されているファイルをローカルPCに転送（ダウンロード）する場合は、転送するファイルやフォルダをローカルPC領域にドラッグアンドドラッグするか、マイコンピュータなどエクスプローラー上に直接ドラッグアンドドロップします。

※以降の操作はファイルのアップロード時と共通となりますので、3-1-2. ファイルのアップロードをご参照ください。

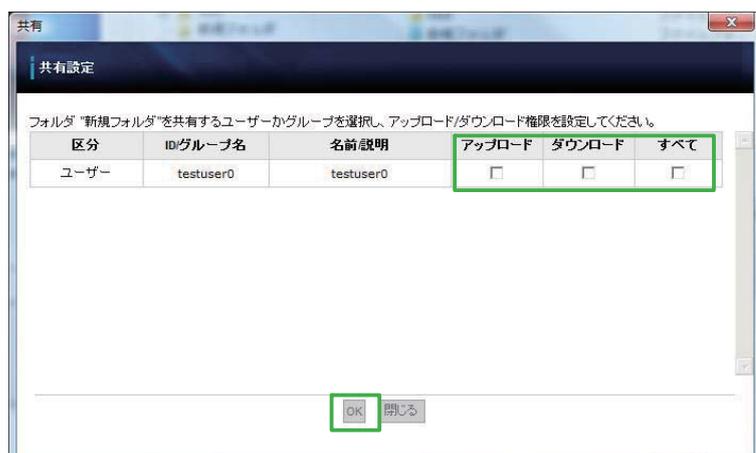
Chapter 3. 各機能の詳細

3-1-4. フォルダ共有の設定



ウェブディスク領域でフォルダを選択した状態で操作メニューの【共有】アイコンをクリックすると、選択したフォルダを共有フォルダに設定することができます。

※管理者 (sysadmin) 以外のアカウントでは、ゲストユーザーもアクセス可能な共有フォルダを作成することはできません。



共有画面では、アカウントごとにフォルダに対するアクセス権を設定することができます。

ファイルのアップロードのみ許可したい場合にはアップロード欄に、ダウンロードのみ許可したい場合にはダウンロード欄に、すべてのファイル操作を許可する場合にはすべて欄にチェックを入れます。

チェックの入っていないアカウントは、作成された共有フォルダにアクセスすることが出来ません。

必要な設定が終わったら、【OK】ボタンを押して共有画面を閉じます。【OK】ボタンを押さずに【閉じる】ボタンを押すと、設定を破棄して共有画面を閉じることが出来ます。

Chapter 3. 各機能の詳細

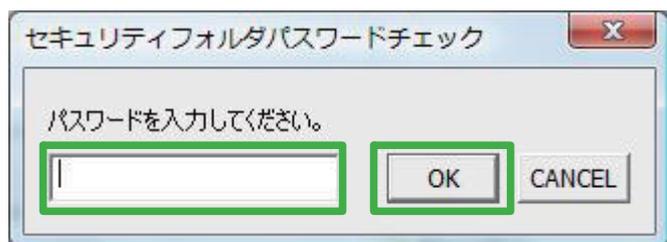
3-1-5. セキュリティフォルダの利用



セキュリティフォルダを利用すると、データをより安全に保管することができます。

※セキュリティフォルダ機能は、ウェブディスクエクスプローラー以外ではご利用できません。

ウェブディスク領域のフォルダー一覧から【安全】をクリックすると、セキュリティフォルダにアクセスするためのパスワードの入力を求められます。



パスワード欄にセキュリティーフォルダパスワードを入力して【OK】ボタンをクリックすると、セキュリティーフォルダへのアクセスが行えるようになります。

セキュリティフォルダに保存されたデータは本機によって直ちに暗号化が行われるため、SSHなどで本機を不正に操作された場合など、何らかの方法でファイルを抜き取られた場合でもそのままファイルを利用することはできません。

※セキュリティフォルダにアクセスした（開いた）ままの状態ですぐに席を外すなど、人為的なセキュリティ欠陥によってはデータの漏洩が発生する場合がありますので十分にご注意ください。

Chapter 3. 各機能の詳細

3-1-6. 共有領域の初期設定フォルダ



共有領域（Open(public)Folder）には初期設定フォルダとして【Movies】【Musics (iTunes)】【Photos】の三つが作成されています。



本機の iTunes ミュージックサーバー機能がオンに設定されている場合、iTunes の共有欄に【Music (iTunes)】フォルダが表示され、再生や iPod への転送を行うことができます。

※ iTunes から【Musics (iTunes)】フォルダにファイルを転送することは出来ません。

※誤って【Musics (iTunes)】フォルダを消去してしまった場合、iTunes ミュージックサーバー機能が正常にご利用いただけなくなりますのでご注意ください。

※誤って【Musics (iTunes)】フォルダを削除してしまった場合は、手動でフォルダを再作成した後に本機の iTunes ミュージックサーバー機能をリスタートする必要があります。フォルダを再作成する場合、フォルダ名は全て半角文字で入力する必要があります。

Chapter 3. 各機能の詳細

3-1-7. システムフォルダ



システムフォルダには本機のシステムが使用する既定のフォルダが予め作成されています。

※誤って既定のフォルダを削除してしまった場合、本機が正常に動作しなくなる場合がありますので十分に注意してください。

※システムフォルダにはシステム管理者 (sysadmin) 以外はアクセスすることができません。

【RapidBox】フォルダには、本機の RapidBox 機能でアップロードされたファイルが保存されます。

【USBCOPY】フォルダには、本機の USB1 または USB2 ポートに接続した USB メモリなどからコピーされたファイルやフォルダが保存されます。

【USBDISK1】および【USBDISK2】フォルダには、本機の USB1 または USB2 ポートに接続した USB メモリなどの内容が表示されます。【USBDISK1】および【USBDISK2】フォルダは本機の USB1 または USB2 ポートに対するマウントポイントであり、表示されているファイルやフォルダの実態は USB1 または USB2 ポートに接続された USB 機器上に存在しています。

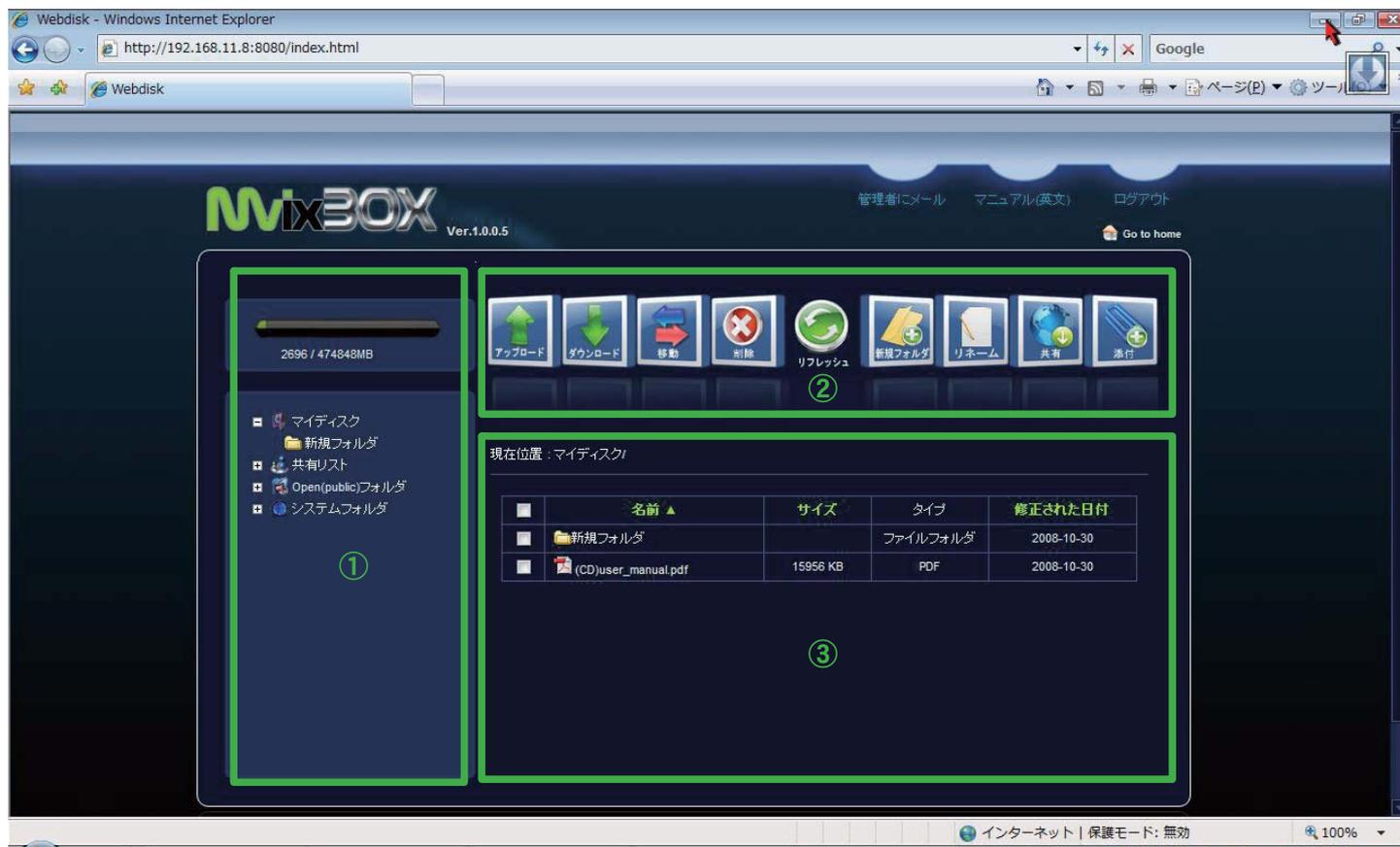
※本機の全面側 USB ポートに接続した機器は【USBDISK1】、背面側 USB ポートに接続した機器は【USBDISK2】にマウントされます。

【WWW】フォルダは、本機のオープン WEB サーバー領域のルートフォルダです。【WWW】フォルダに HTML ドキュメントなどを設置することにより、Homepage ポートとして設定されたポートを使用して本機にアクセスした場合、【WWW】フォルダに保存された Index ファイルが呼び出されます。

※【WWW】フォルダに有効な Index ファイルが無い場合は、Homepage ポートを指定して本機にアクセスした場合でも本機のログイン画面が表示されます。

Chapter 3. 各機能の詳細

3-2. ウェブディスクブラウザ



① フォルダツリーとディスク使用状況

本機に保存されているフォルダの一覧が表示されます。

② 操作メニュー

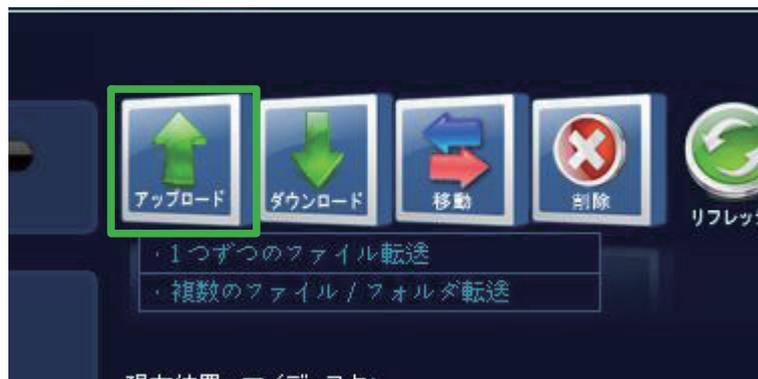
操作メニューに配置されたアイコンを使用して、ファイルやフォルダの作成・コピー・移動・削除を行うことができます。また、フォルダの共有設定やゲストユーザーの追加も行うことができます。

③ ウェブディスク領域

フォルダツリーで選択されたフォルダに保存されているファイルやフォルダの一覧が表示されます。

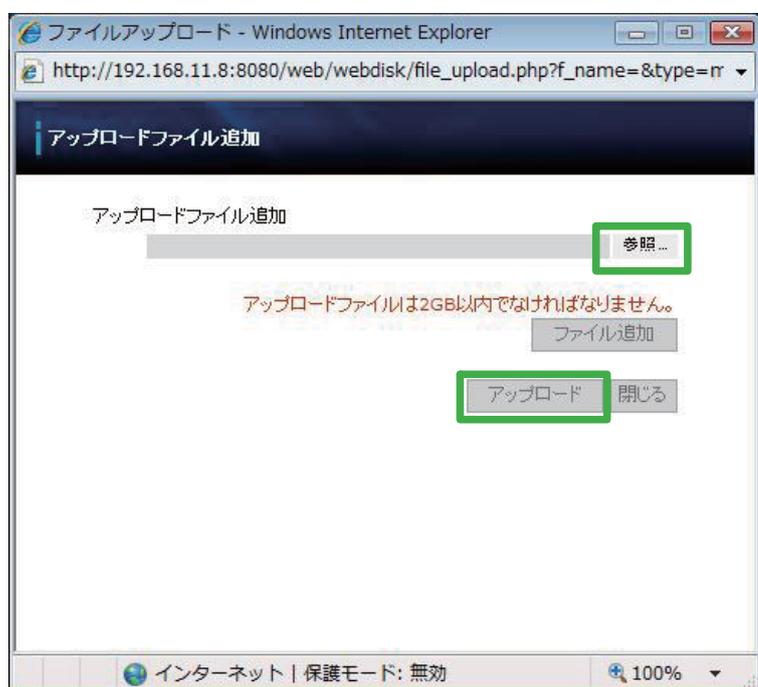
Chapter 3. 各機能の詳細

3-2-1. ファイルのアップロード



【アップロード】ボタンをクリックすると、本機にファイルやフォルダをアップロードすることができます。

ウェブディスクブラウザでのアップロードは、ファイル単位でアップロードする場合とフォルダ単位でアップロードする場合の二つの方法があります。



ファイル単位でアップロードを行う場合、【アップロードボタン】をクリックして表示されるメニューから【1つずつのファイル転送】をクリックします。

アップロードファイルの追加画面が表示されたら【参照】ボタンをクリックしてファイルの選択ウィンドウを表示します。

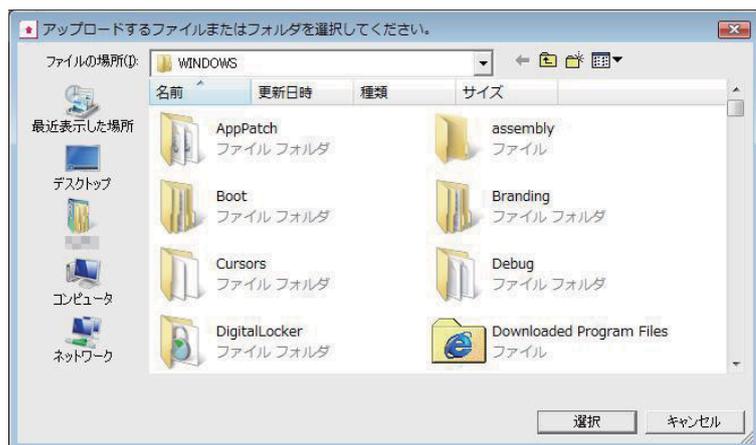
アップロードするファイルを選択したら、【アップロードボタン】をクリックしてアップロードを実行します。

【アップロードボタン】をクリックせずに【閉じる】ボタンをクリックすると、ファイルの選択を破棄してアップロードファイルの追加画面を閉じることができます。

【ファイル追加】ボタンをクリックすると、他にアップロードするファイルを追加して指定することができます。

※単独で2GBを越えるファイルのアップロードは行えません。2GBを越えるファイルのアップロードには、ウェブディスクエクスポージャーを使用してください。

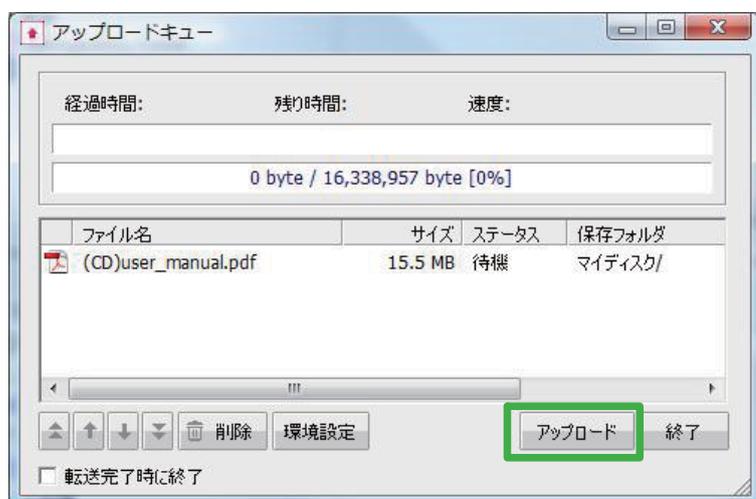
Chapter 3. 各機能の詳細



フォルダ単位でアップロードを行う場合、【アップロードボタン】をクリックして表示されるメニューから【複数のファイル/フォルダ転送】をクリックします。

ファイルの選択ウィンドウが表示されるので、アップロードするフォルダを選択します。

※ファイルを選択することもできます。



ウェブディスクエクスプローラーでアップロードを行う場合と同様のアップロードキュー画面が表示され、【アップロード】ボタンをクリックするとアップロードが実行されます。

※アップロードキュー画面の操作方法は、3-1-2. ファイルのアップロードを参照してください。

※単独で 2GB を越えるファイルのアップロードは行えません。2GB を越えるファイルのアップロードには、ウェブディスクエクスプローラーを使用してください。

※単独で 2GB を越えるファイルのアップロードを行おうとした場合はエラーメッセージが表示され、アップロードが中止されます。その際に本機に容量が 0KB のファイルが作成される場合があります。

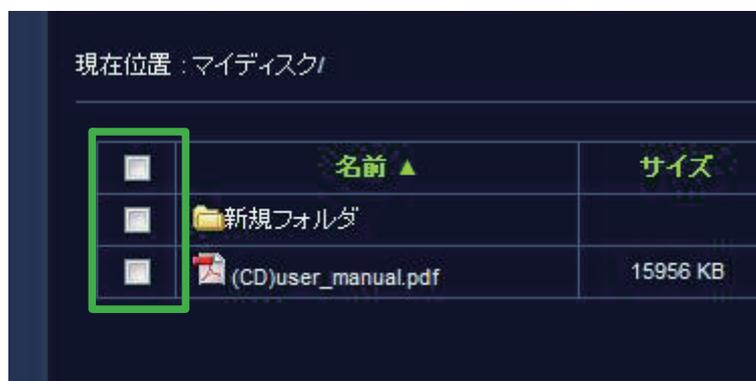
Chapter 3. 各機能の詳細

3-2-2. ファイルのダウンロード



【ダウンロード】ボタンをクリックすると、本機からファイルやフォルダをダウンロードすることができます。

ウェブディスクブラウザでのダウンロードは、ファイル単位でダウンロードする場合とフォルダ単位でダウンロードする場合の二つの方法があります。



ファイル一覧から、ダウンロードしたいファイルの左側に表示されているチェックボックスをクリックして選択します。

チェックが入ったチェックボックスを再度クリックすると、選択を取り消すことができます。また、タイトル行のチェックボックスをクリックすると、選択状態の反転を行うことができます。



一つのファイルをダウンロードする場合には、【ダウンロードボタン】をクリックして表示されるメニューから【1つずつのファイル転送】をクリックします。

一般の Web サイトからファイルをダウンロードする場合と同じく、ブラウザのファイルダウンロードウィンドウが表示されます。

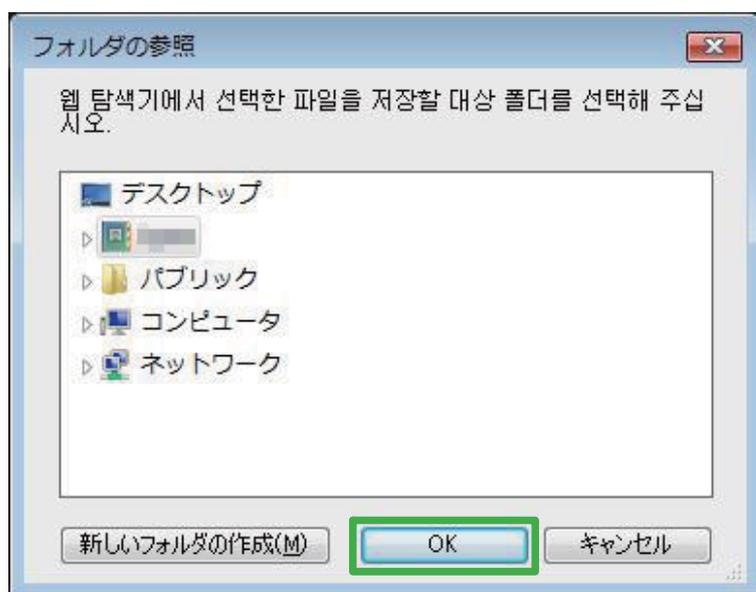
【保存】ボタンをクリックするとダウンロードを実行します。【開く】ボタンをクリックすると、対応するアプリケーションから直接ファイルを開覧・実行することができます。

Chapter 3. 各機能の詳細

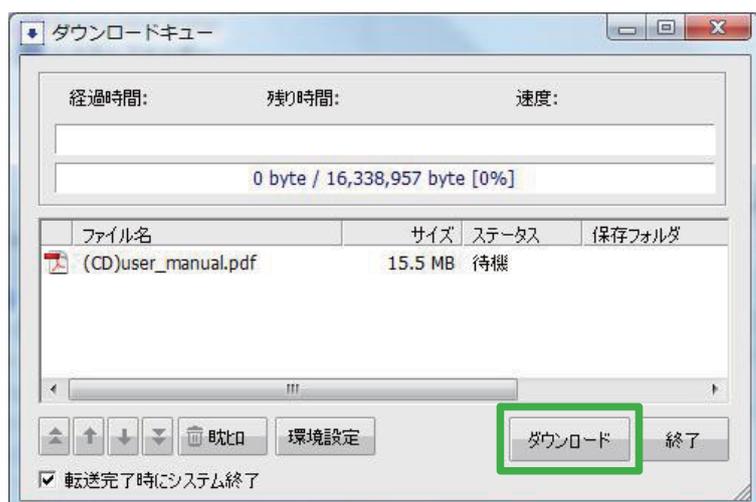


ファイル一覧から、ダウンロードしたいファイルやフォルダの左側に表示されているチェックボックスをクリックして選択します。

チェックが入ったチェックボックスを再度クリックすると、選択を取り消すことができます。また、タイトル行のチェックボックスをクリックすると、選択状態の反転を行うことができます。



ファイルやフォルダのダウンロード先を選択して【OK】ボタンをクリックします。



ウェブディスクエクスプローラーでダウンロードを行う場合と同様のダウンロードキュー画面が表示され、【ダウンロード】ボタンをクリックするとダウンロードが実行されます。

※ダウンロードキュー画面の操作方法は、3-1-3. ファイルのダウンロードを参照してください。

Chapter 3. 各機能の詳細

3-3. メッセージ機能



【メッセージ／リンク】 ボタンをクリックすると、本機に登録されたユーザー同士でメッセージ（ノート）の送受信を行ったり、Eメールの送信を行うためのメッセージ／メールBOX画面が表示されます。

メッセージ／メールBOX は一般のメールクライアントと同じように機能します。

画面右上のタグをクリックすることで、表示される内容を切り替えることができます。

【メッセージから】 タグをクリックすると、受信フォルダが表示されます。

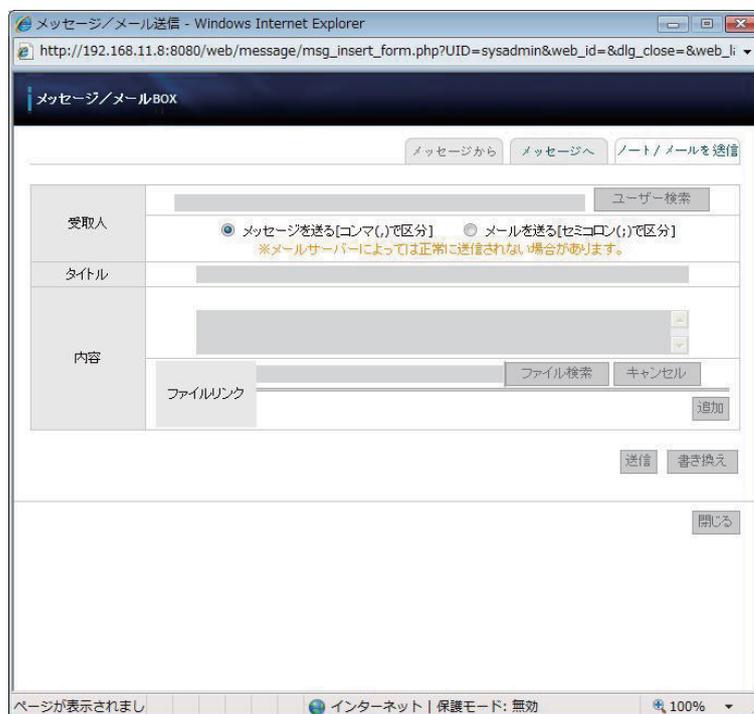
【メッセージへ】 タグをクリックすると、送信済みメッセージが表示されます。

【ノート／メールを送信】 タグをクリックすると、本機に登録されているユーザーにメッセージを送信したり、Eメールの送信を行うことができます。

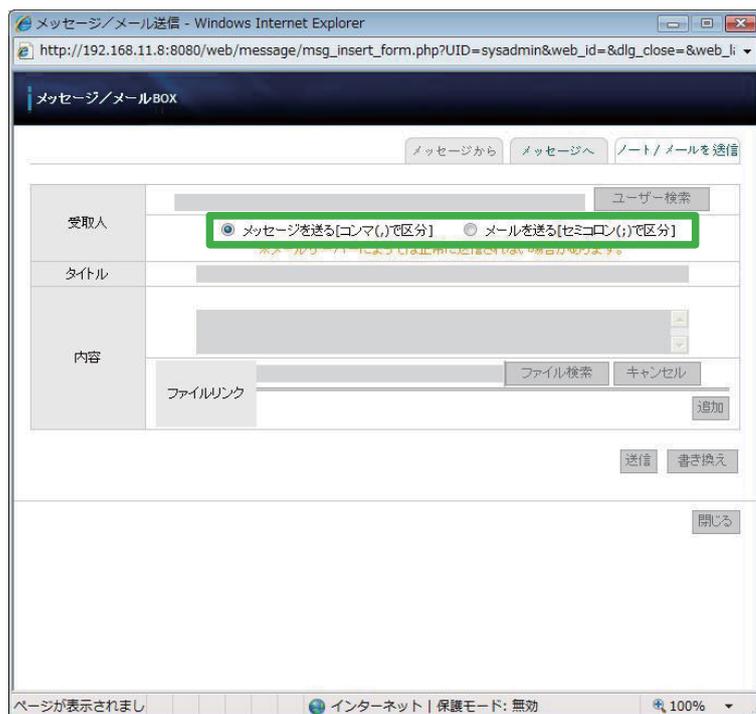
※ Eメールの送信は【管理者】メニュー画面でSMTPサーバーが設定済みの場合のみ可能です。

※本機はEメールの送信のみ行うことができます。送信されるEメールの差出人は設定に関係無く admin@mvox.net となります。

※設定するSMTPサーバーのセキュリティポリシーによっては、本機のEメール送信機能をご利用いただけない場合があります。



Chapter 3. 各機能の詳細



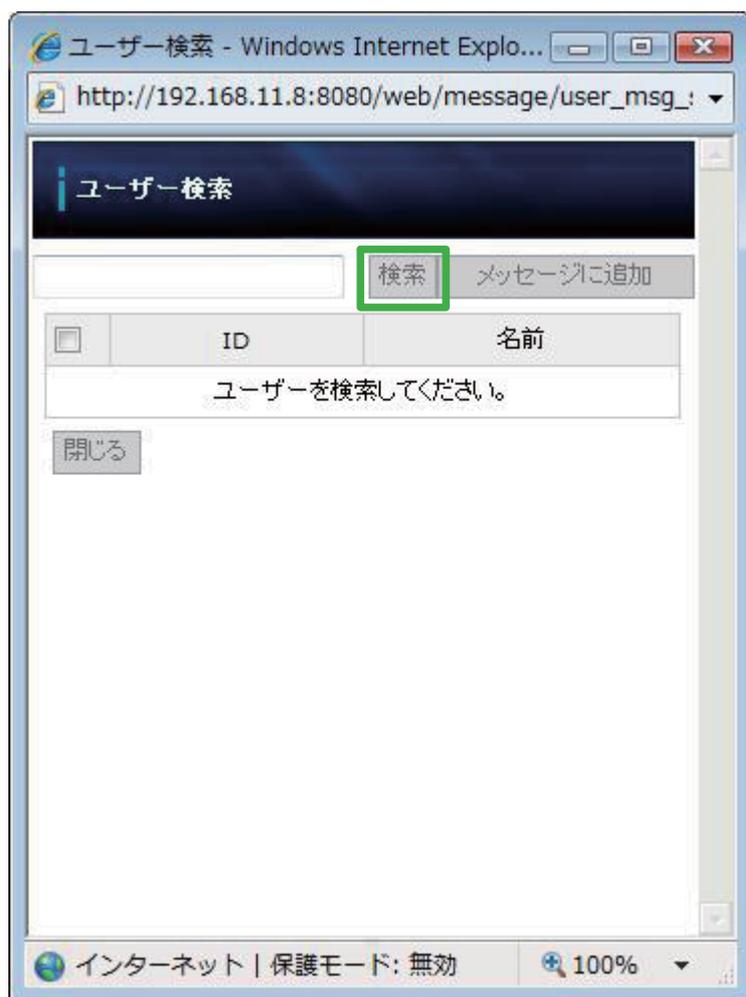
本機に登録されたユーザー同士でメッセージ（ノート）の送受信を行う場合には【メッセージを送る】を、Eメールの送信を行う場合には【メールを送る】を選択して受取人欄に送信先を入力します。

本機に登録されたユーザーにメッセージを送信する場合は、【ユーザー検索】ボタンをクリックしてユーザー検索を行うことができます。

ユーザー検索画面でメッセージを送信したいユーザー名の一部または全部を入力して【検索】ボタンをクリックすると、該当するユーザーの一覧が表示されます。

検索欄に何も入力せず【検索】ボタンをクリックすると、本機に登録されている全ユーザーが一覧に表示されます。

一覧に表示されたユーザー名の左側のチェックボックスにチェックを入れて【メッセージに追加】ボタンをクリックすると、受取人欄に選択したユーザーが追加されます。



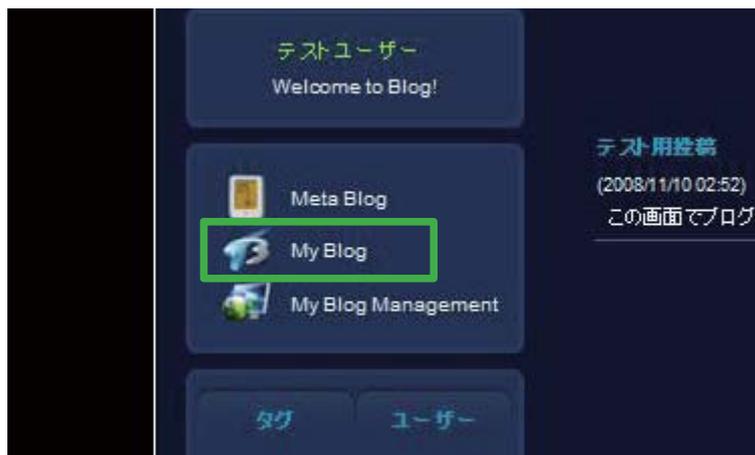
Chapter 3. 各機能の詳細

3-4. ブログ機能



ブログ機能の初期画面では、本機に登録されている全ユーザーの最新エントリが表示されます。

3-4-1. 新しい記事を書くには



【MyBlog】をクリックして、自分のブログ画面を表示します。

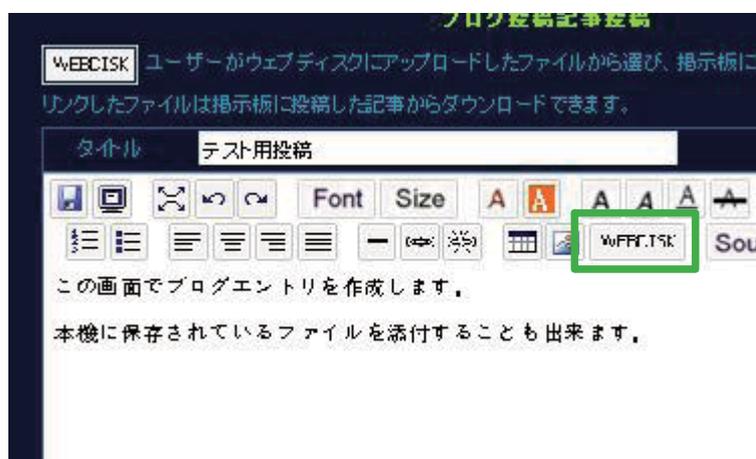


【Webdisk FileLink】ボタンをクリックすると、記事作成画面が表示されます。

Chapter 3. 各機能の詳細



ブログ機能の初期画面では、本機に登録されている全ユーザーの最新エントリが表示されます。



【タイトル】欄に記事のタイトルを入力して、編集画面に記事本文を入力します。

編集画面上部のメニューボタンを使用して、記事本文のテキストに装飾を加えることができます。

【WEBDISK】ボタンをクリックすると、本機に保存されている画像ファイルを記事に貼り付けて利用したり、記事中からファイルのダウンロードを行うためのリンクを作成することができます。

記事の入力が終わったら、【保存】ボタンをクリックします。

作成されたエントリが公開されます。



Chapter 3. 各機能の詳細

3-4-2. 外部ユーザーにブログを公開する



【View Blog】をクリックすると、スキンが適用された状態の自分のブログを表示することができます。



このページのアドレス (URL) へのアクセスは、本機に登録されたユーザー以外でも行うことができます。

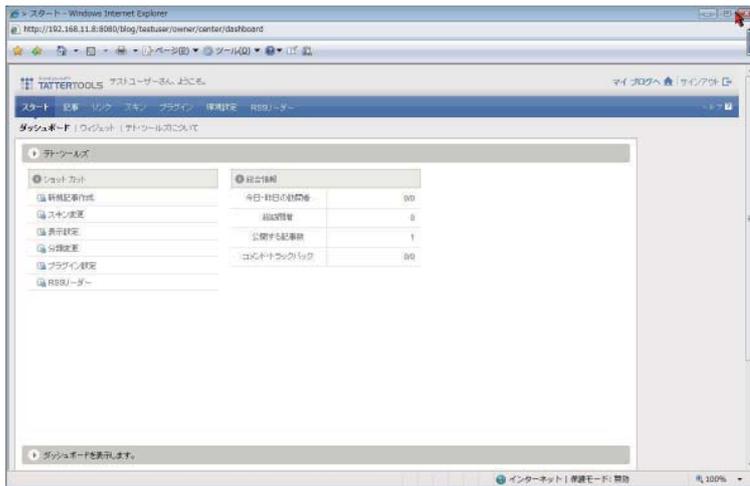
メールなどによりこのページのアドレス (URL) を通知することで、特定の相手に本機へのユーザー登録を行うことなくブログを公開することができます。

3-4-3. ブログの管理画面を利用する



【MyBlog Management】をクリックすると、ブログの管理画面にアクセスすることができます。

Chapter 3. 各機能の詳細



管理画面を使用すると、投稿したエントリを削除したり、【View Blog】でブログを表示する場合のスキンファイルの設定を行うことができます。

※管理画面上でエントリ作成を行うと、二重投稿状態となったり投稿したエントリが削除できない現象が発生します。管理画面からは絶対にエントリの作成を行わないでください。

Chapter 3. 各機能の詳細

3-5. BitTorrent 機能



BitTorrent 画面では、Torrent ファイルを登録したり RSS を使用してファイルをダウンロードしたり、ダウンロードしたファイルのマネジメントを行うことができます。

3-5-1. Torrent ファイルを登録する

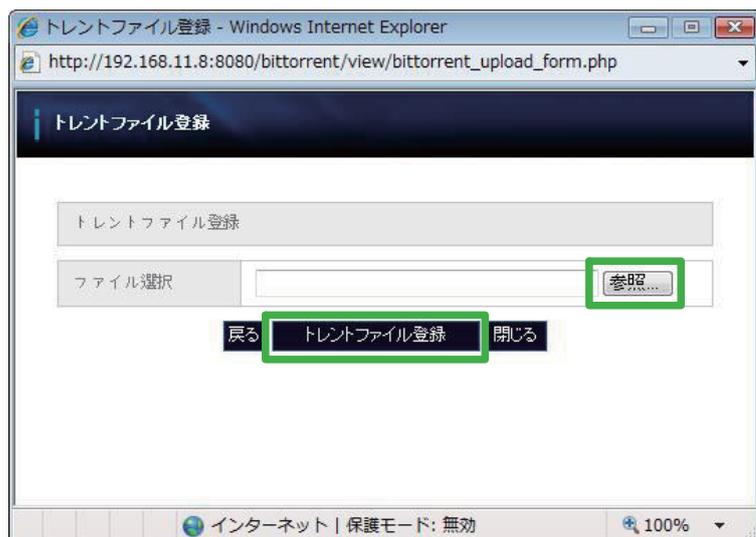


本機に Torrent ファイルを登録するには、【トレントファイル登録】ボタンをクリックします。



ローカル PC 上の Torrent ファイルを登録する場合には【ファイル (トレントファイルをアップロードして登録)] を、インターネット上の Torrent ファイルを登録する場合には【URL (トレントファイル URL アドレスで登録)] を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

Chapter 3. 各機能の詳細



ローカル PC 上の Torrent ファイルを登録する場合は、【参照】ボタンをクリックして登録する Torrent ファイルを選択して【トレントファイル登録】ボタンをクリックします。



インターネット上の Torrent ファイルを登録する場合は、Torrent ファイルの URL を入力して【トレントファイル登録】ボタンをクリックします。

3-5-2. RSS から Torrent ファイルを登録する



【RSS reader】ボタンをクリックすると、mininova.org から配信されている RSS を受信して Torrent ファイルを登録することが出来ます。

Chapter 3. 各機能の詳細



mininova.org から配信されている RSS を受信して Torrent ファイルを一覧形式で表示します。

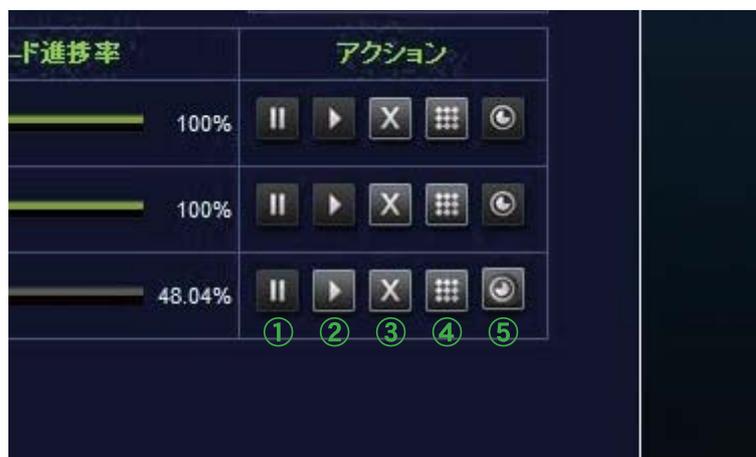
カテゴリ選択ダイアログを使用すると、カテゴリごとの一覧表示を行うことができます。



一覧表示された Torrent ファイルをクリックすると、Torrent ファイルの詳細が表示されます。

【トレントファイル登録】ボタンをクリックすると、Torrent ファイルが登録されます。

3-5-3. Torrent ファイルの管理

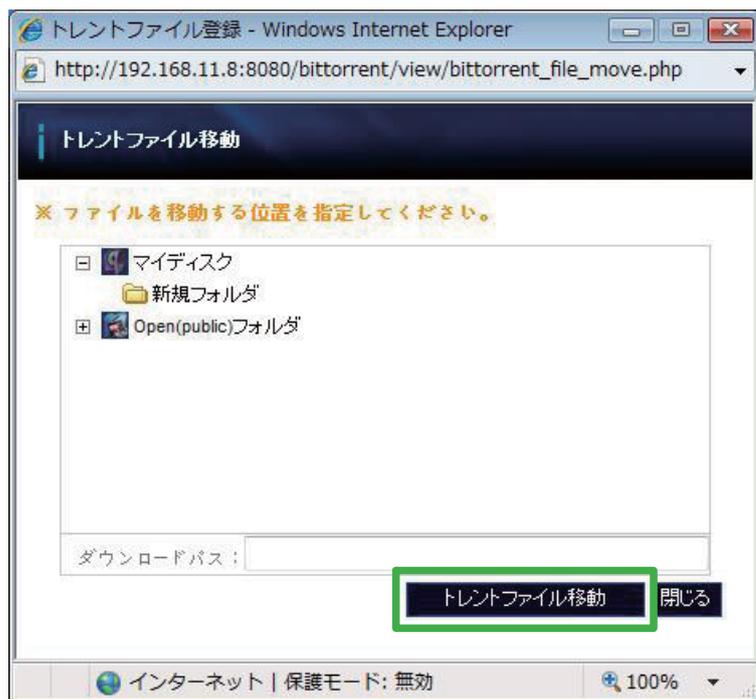


①ダウンロード一時停止
ダウンロードを一時停止することができます。

②ダウンロード再開
一時停止されたダウンロードを再開します。

③ダウンロードキャンセル
ダウンロードをキャンセルして、Torrent ファイルを削除します。

④トレントファイル詳細情報
Torrent ファイルの詳細情報を表示します。



④トレントファイル整理

ダウンロードが完了したファイルは専用のシステムフォルダに保存されているため、そのままでは使用することができません。

【トレントファイル整理ボタン】をクリックすると、ダウンロードが完了したファイルをマイディスク領域や共有領域に移動します。

移動先のフォルダを選択して、【トレントファイル移動】ボタンをクリックします。

Chapter 4. 設定ウィザードによる設定

4-1. 設定ウィザードの起動



設定ウィザードを利用すると、本機の設定を簡単に行うことができます。

設定ウィザードを使用した設定の手順は設定ウィザードの画面上に表示されますが、順を追って補足しつつ解説します。

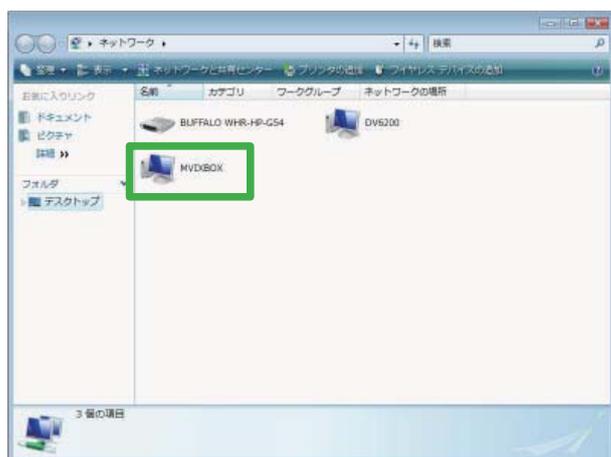
4-2. サーバー名の設定



本機の名称を設定します。

ここで設定した名前は、通常のPCの【コンピュータ名】と同様に、UPnPやネットワーク上で本機の名称として使用されます。

また、iTunesミュージックサーバー機能が有効になっている場合、iTunes上に表示される名称としても使用されます。



ネットワーク上に本機を複数台接続する場合は、それぞれの名称が同一にならないように設定してください。

Chapter 4. 設定ウィザードによる設定

4-3. 管理者用アカウント（sysadmin）の設定



管理者用アカウント（sysadmin）に関する設定を行います。

管理者用アカウントは sysadmin のみとなっており、アカウント名を変更したり別のアカウントを管理者用として追加することはできません。

通常ログイン用パスワードとセキュリティフォルダ用パスワードにそれぞれ異なるパスワードを設定する場合は、【セキュリティフォルダの既存パスワード】欄右側の【修正】チェックボックスにチェックを入れます。

万一管理者用アカウントのパスワードを忘れてしまった場合のために、秘密の質問と答えを設定することを忘れないようご注意ください。

4-4. メールサーバーの設定



本機から E メールを送信する際に使用する SMTP サーバーの設定を行います。

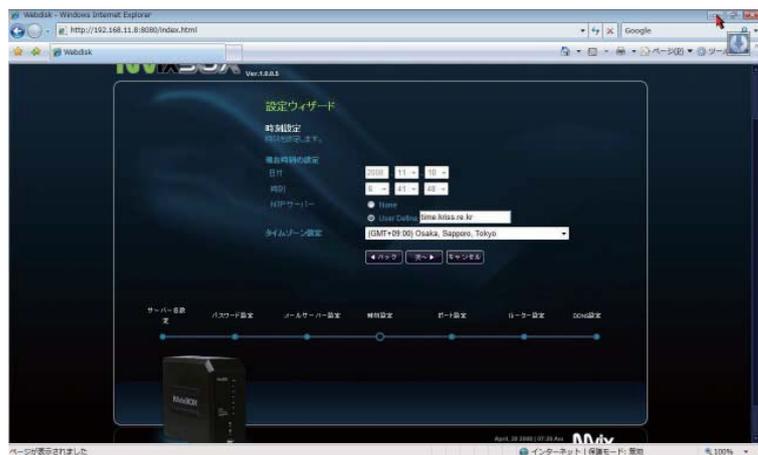
本機から E メールを送信する場合は、ここで設定した SMTP サーバー、アカウント、パスワードを使用して送信されます。

各項目を空白のままにしたり、誤った設定を行った場合、本機から Eメールの送信を行うことができません。

また、ISP によっては迷惑メールの送信行為と判断されて SMTP サーバ上でメールの送信を遮断される場合もありますのでご注意ください。

Chapter 4. 設定ウィザードによる設定

4-5. 日付と時刻の設定



本機の日付と時刻に関する設定を行います。

意図的に NTP サーバーへの接続が遮断されたネットワークに接続されている場合を除き、通常はタイムゾーンのみ設定を変更します。

日本国内に本機を設置する場合は、タイムゾーンを【(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo】に変更します。

4-6. サービスで使用するポートの設定



本機の各サービスで使用するポートを変更したい場合は、ここで設定を行います。

4-7. ルーターの設定



本機のサービスで使用する各ポートについて、ルーターにポートの開放やアドレス変換の設定を行う必要があります。

画面上にはポート開放とアドレス変換が必要なポートに関する情報が表示されています。

【ルーター設定ショートカット】ボタンをクリックすると、ネットワーク上のルーターを検索してルーターの設定画面が表示されます。

Chapter 4. 設定ウィザードによる設定

※本機に設定された IP アドレス情報から、デフォルトゲートウェイを使用してルーターの設定画面を呼び出します。ルーターの IP アドレスがデフォルトゲートウェイの設定値と異なる場合は、別途ルーターの設定画面にアクセスして適切な設定を行ってください。

4-8. DDNS の設定



本機をご利用のユーザー専用の DDNS サービスに登録することにより、固定 IP アドレスが付与されない ISP に加入されている場合でも URL を使用してインターネットから本機にアクセスすることが可能になります。

本機に提供されている DDNS サービスを使用した場合、本機の URL は

http:// ●●●●● .mvi.net

になります。

DDNS の設定画面では、この●●●●●の部分を設定します。